

学校だより 第14号



心豊かで 確かな学力をもち 心身ともに健やかな子どもの育成

令和4年10月26日 津市立榊原小学校

令和4年度 「全国学力・学習状況調査」と「第1回みえスタディ・チェック」の結果について

4月19日(火)に、6年生が「全国学力・学習状況調査」を、5月12日(水)19日(水)に、4年生と5年生がタブレットを使って「第1回みえスタディ・チェック」を実施しました。

国や県から各学年の採点・集計結果等が発表されましたので、本校児童との比較や各教科等の分析結果をお知らせします。正答率の比較は本校の「強み(良いところ)」と「弱み(課題があるところ)」として参考にし、「強み」と考えられる部分は実践継続し、「弱み」と考えられる部分の力を伸ばすよう取り組みます。本校は児童数が少ないため、個別の「強み」や「弱み」を掌握し指導に生かすことに、より重点を置きます。なお、これらの調査から読み取れることは、子どもたちの学力や生活の一部であり、学校の教育活動の一側面です。保護者のみなさまには、お子様の得意なことや努力を認めながら、今後の学習や生活の励みとなるようなお声かけ、読書習慣・生活習慣の改善へのご協力をお願いします。

4・5年生 みえスタディ・チェック

国語：4・5年生ともに三重県の平均を10%以上上回っています。

算数：4・5年生ともに三重県の平均を10%以上上回っています。

理科：5年生は三重県の平均を約3%下回っています。(4年生は実施していません。)

《本校の強み(良いところ)》

国語：漢字やローマ字を書く、指示語が示す内容や主語を理解する問題や、物語の場面を選ぶ問題での正答率が高かったです。

算数：数と計算の領域は特に正答率が高く、時間や分数の理解など、平均正答率が低い問題もよくできています。

理科：気温と植物の成長に関する問題等生命の領域はよく理解しています。

《本校の弱み(課題があるところ)》

国語：条件に従って50字以上60字以内にまとめて書く、書かれた順に内容を並び替える問題を苦手としています。

算数：180度より大きい角の読み取りや面積を求めるために必要な辺の長さを求める問題等はやや正答率が低かったです。

理科：空気と水の性質に基づいてその理由を書く問題や乾電池のつなぎ方による違いの問題に課題があります。

6年生 全国学力・学習状況調査

国語：全国の平均を約2%下回っています。

算数：全国の平均を約5%上回っています。

理科：全国の平均を約4%上回っています。

《本校の強み(良いところ)》

国語：資料を読んで、問題点に対する解決法を考えて書く、話し合いの内容を条件に合わせて書く問題の正答率が高かったです。

算数：割合の問題や分類整理されたデータから考察する平均正答率の低い問題も正答率が高かったです。

理科：水の変化や水溶液等「物質」や「地球」の領域の問題は正答率が高かったです。

《本校の弱み(課題があるところ)》

国語：主人公の心情を読み取る等「読む」領域の問題は選択式・記述式ともに正答率が低かったです。

算数：図形や概数で推測する問題にやや課題がありました。

理科：昆虫の育ち方と食べ物に関して資料を基に分析、解釈し、自分の考えを持つ「生命」領域の問題は正答率が低かったです。

《児童質問紙の結果（抜粋）》 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」等、良い傾向の合計の全国の平均回答率との比較

◎良い傾向 ○同じくらい △課題がある傾向 ☉は100%

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	◎
普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、テレビ（携帯PC）ゲームをしますか	○
自分には良いところがありますか	○
将来の夢や目標を持っていますか	◎
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	◎
難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますか	△
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか	☉
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	☉
学校に行くのは楽しいと思いますか	△
友達と協力するのは楽しいと思いますか	☉
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	◎
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどのくらいの時間、読書をしますか	△
地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか	◎
今住んでいる地域の行事に参加していますか	◎
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	◎
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	☉
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	○
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	◎
算数の勉強は大切だと思いますか	☉
理科の授業の内容はよくわかりますか	☉
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	☉

【考察と今後の取組】

学習面では、基礎基本の力の定着に向けた取組を継続させ、さらに意欲的に取り組めるよう、タブレットも活用し、家庭学習とも連動させながら意欲的に取り組めるような授業づくりを目指します。また、課題のあった問題や領域等については、復習や関連プリント等で力をつけてまいります。児童期に本に触れ、読書によって語彙を豊かにし、世界を広げ、想像力を膨らませることは大切であり、生きる力としての学力との相関関係も統計結果から明らかになっています。特に、ふだん少人数での授業のため、多様な考えや価値観に触れることが少ない本校児童にとって、読書の習慣は大変重要であるとの認識のもと、読書習慣の確立に向けて、学校で取組を始めています。



責任感や思いやり、いじめを許さない人権意識が育っていることは、これまでのなかまづくりや、縦割り活動等の異学年交流、児童会活動の取組の成果ととらえ、継続してまいります。また、子どもたちの規範意識や、協力・地域貢献に対する意識の高さは、地域の皆様が学校と連携・協働して子どもたちの成長を支えていただいている結果ととらえています。学校生活がさらに楽しく、充実したものとなるように、授業や行事等すべての教育活動を通して、成功体験を味わわせ、自尊感情や自己肯定感を高めるとともに、互いを認め合い、安心してチャレンジできるクラスづくりに努めてまいります。